愛知地区教職員労働組合機関誌　2015，9，24　No 249

教労 21C

連絡先　tkondot3@nifty.com

HP　http://www.wb.commufa.jp/inchi74/

長時間労働と部活

―これでいいのだろうか？！―

わたしたち愛知地区教労は、長時間労働の正確な実態把握とともに、時間外業務削減のために，行事や諸会議の精選・業務の合理化および職員の意識改革の推進等の全般的な見直しを強く進めること、また、勤務時間が法律や通知・組合との合意に基づいて行われ、どうしても勤務時間外に実施せざるを得なかった業務については、勤務時間の割り振り変更措置を必ず行うことを長年要求して来ました。

「長時間労働の大きな要因は部活動である」ことを、教育委員会も（県・市町共に）認めています。別紙は、その部活動が長時間労働の元凶であることをより明確に示す、豊明市Ａ中の資料です。（情報公開により、４月の在校時間記録集計表と特殊業務手当の資料を元に作成したものです。）

豊明市Ａ中の実態　―　教員・生徒・保護者が疲弊する

① ４月の在校時間調査によると、超 100 時間 22 人（５０％）、超 80 時間 5 人（職員数 44 人）。
② 部活動従事者でみると、28 人の内 18 人が超 100 時間、4 人が超 80 時間。
③ 新学期が始まるとすぐ部活動が開始されており、「家庭の日」も３つの部活動（４人の指導者が行われた。5 月の「家庭の日」はさらに増え、16 人、7 つの部活動が実施されている。
④ ４月に１回も休みのない部活が２つ（３人の指導者）。（「家庭の日」の振替も実施せず。）
⑤ 部活動のために、休みの日がなく家族の一員としての生活が保障されていない生徒が多く存在。

どこの中学校（小学校）でも同じような実態

豊明Ａ中の実態は、地区内の市町の殆どの中学校（一部小学校にも）の日常の姿となっています。このような過労死ラインをはるかに超える長時間労働の蔓延は、当該の教職員自身の健康ばかりでなく、正常な家庭人としての生活、教員としての教材研究の授業準備不足等にとっても大問題です。さらに、ほとんど休みのない部活動では勝利至上主義に陥っていないでしょうか。部活動に参加する生徒の心身の健康保持や家族との絆に悪影響を与えていないと言えるでしょうか。

早急にルールを作り、健康や生徒を守ろう！

このような実態を正確に把握し、早急に改善しようとしない教育委員会・管理職の責任は重大です。教職員及び生徒（児童）・保護者の健全な生活を保障するため、「家庭の日は練習しない」「1 日の練習時間を少なくする」等のルールが最低必要なのではないでしょうか。

●は超１００時間、▲は超 80 時間。

第３日曜日「家庭の日」

■は「家庭の日」も含めて４月の休日全てで部活動を実施。

	4/4	4/5	4/11	4/12	4/18	4/19	4/25	4/26	4/29			
氏名	土	日	土	日	土	日	土	日	祝	回数	時間数計	在校時間オーバー
●あ	4	4	4	4	4		4		8	7	32	117
●い	4		4	7	5	4		4	4	7	32	106
●う			8		7.5		9	5	5	5	35	145
●え			4.5		8		4.5		4	4	21	129
●お	5			7.5	4		4		4	5	25	160
▲か										0	0	95
？き			7	6.5	7.5		9	5	5	6	40	不明
●く					9		9.5	9	9	4	37	119
●け	4		4		4		4		4	5	20	142
▲け										0	0	83
●こ			5	4.5	6		5	5	5.5	6	31	149
●さ							5			1	5	165
▲し					5		9		4	3	18	96
●す		9	9	11	5		9	4	4	7	51	149
●せ	9	9	5	5	9	5	9	5	10	■9	66	159
▲そ			5	4.5	6			5	5.5	5	26	89
●た	4		8	8	7		7			5	34	146
●ち			7	6.5	7.5		9	7.5	5	6	43	181
●つ				7.5	4		4			3	16	137
●て	6	6	6	6	6	11	9.5	5	6	■9	62	169
●と	9		5	10.5	9		9.5	8		6	51	192
●な			4.5		8		4.5			3	17	101
？に	5	5	5	9	9		9	8		7	50	不明
ぬ										0	0	77
●ね	8.5	8.5	4	4	4	4	4	4	8	■9	49	148
の					6	11	9.5	5	6	5	38	121
は										0	0	68
ま	6.5	4	4		4					4	19	125

４月の正規外の超在校時間

声・声・声・声

● 全市町・・・・３月に退職しても６２歳まで年金は１円もでません。さらに、昭和３６年４月以降の生まれとなると６５歳まで年金なし。追い打ちをかけるように「来年度の再任用では、２人で協力して担任をする可能性がある・・・」（管理職より）との話がありました。再任用の勤務も厳しくなりそうです。

● 東郷Ａ小・・・健康診断結果後、校医に面談指導を受けます。しかし、質問しても「大丈夫です。はい、次の人･･･。」となり、聞く耳のない校医さんに困っています。

○ 東郷町・・・・本町でも学校図書館司書パートが、やっと配置されるようになりました。職員の休憩時間である昼に貸し出しができるようになり、さらに、本の整頓や図書室のレイアウトも変わりました。

○ 東郷Ｂ中・・・昨年から体育大会が秋から春になりました。個人種目をなくし、負担のない内容で実施されました。日の丸も朝から揚げておくだけに。

○ 豊明Ｃ小･･･９月末の運動会、連休や天候不順の影響で、練習時間を確保するのが厳しい中、組体操をなくす・練習の合理化や簡略化などの工夫をしています。（本地区でも識者の指摘や警告をもとに、特に組体操の安全性に目が向けられるようになってきました。また、熱中症対策として、児童・生徒の観覧席にテントを張る学校もあります。）

● 長久手Ｄ小･･･・安保法案（戦争法案）では、子どもからも「日本は戦争をする国になるの？」と不安の声が出されました。自分の教えた子どもたちが戦争に行く、人を殺す、ＰＴＳＤ（心的外傷後ストレス障害）で苦悩する・・・となることをどうしても防ぎたいものです。

毎日新聞　２０１５．９．１９朝刊　→

自衛隊に戦争させてはならない

主婦　土田　淑子64（奈良市）

関東・東北豪雨で鬼怒川の堤防が決壊するなど大規模水害を伝えるニュースを見ていて、自衛隊のヘリコプターを見つけてホッとしました。消防や警察、海上保安庁のヘリも出動したと報じられました。皆さんが危険を顧みずに救助に当たってくださったことに本当に頭が下がります。

と同時に、これまで行われてきた安保法制についての審議のむなしさを感じずにはいられません。

「必ず助けに来てくれる」。この安心感こそが「国民の命と安全を守る」基本です。戦後70年、一人の命も奪うことなく、災害時は多くの人の命を救ってきた自衛隊は世界に類を見ない存在だと思います。それは災害時に目の当たりにする隊員一人一人の心意気が育ててきたものともいえるでしょう。

この若者たちを戦争に参加させてはならない、人を殺させてはならない、と強く思いながら、自衛隊員に抱きかかえられてヘリで救助される方の映像を見ていました。

教え子が自衛隊に入隊しています。戦争をするためではなく、災害等での自衛隊の活躍を見て入隊を決意したのです。戦争法案に対して「国民に十分説明していない」が７～８割、「成立に反対」が約６割と答えています。もし戦死したならば･･･と考えると、いても立ってもいられません。

あなたの職場では、

夏休みに勤務時間割り振り・代休はありましたか？

犬山市内のＡ小学校校長が作成して全職員に配布した「割り振り変更一覧表」です。「割り振り簿については校長の判断で作成するものと考えている。今後も、客観的なもので整理するように助言していく。このことは、人事担当者会等を通じて、その趣旨を市町教育員会へ周知している。」（愛教労との交渉にて）と県教育員会は述べています。従って、**校長の判断で、どこの学校でもできるのです。また、すべきことなのです。**

校長作成の割り振り一覧表（犬山市Ａ小）

事務処理として１０時間を計上しています。

	1 5月会議	2 あいさつ3回	3 6月会議打合	4 自然教室下見	代休 自然教室下見	5 自然教室	6 事務処理	代休 管内大会	7 修学旅行下見6	代休 幼保小代休25	8 修学旅行下見7	代休 修学旅行下見7	9 運動会実行委員会	10 資源回収	合計	勤割＋代休
時間	1	2	1				10							4	18	2.5日
（職員名）					8	7		24	8			8	4	4	63	8.0日
				8					8		8		4	4	32	4.0日
	1	2	1		8	7	10		8	4		8	4	4	57	7.0日
	1	2	1	8			10	8	8			8	4	4	54	7.0日
	1	2	1				10							4	18	2.5日
	1	2	1				10						4	4	22	3.0日
	1	2	1		8	7	10		8		8			4	49	6.5日
			1				5							4	10	1.5日
	1						5								6	1.0日
	1	2	1				10			4				4	22	3.0日
	1	2	1		8	7	10							4	33	4.5日
	1	2	1	8			10							4	26	3.5日
	1						5								6	1日

どこの学校でも校長判断でできます。